

めいろうこども園 外部評価委員会報告

- ・日 時 : 令和7年7月18日(金)
午後2時～3時15分
- ・場 所 : シオンヴィレッジ内 ハハトコノハコ

・評価委員

深田 健	市福祉事務所子育て支援係長
東 洋平	父母の会 令和6年度会長
種子田好美	父母の会 令和6年度会計
遠藤 雅晶	発達支援施設 オリーブ施設長
鮫島 寛大	学園評議員

・こども園職員

園長 和俊	園長
森山 雅代	主幹保育教諭



○保育参観 各学年別の保育

○協議内容

- ・保護者による園評価(令和6年度分)分析
- ・保護者による自由意見(令和6年度分)分析
- ・職員による自己評価(令和6年度分)分析
- ・今後の課題及び運営に関する意見交換

○園評価を踏まえた考察

- ・園長: 運動会における午後の部のプログラム実施について
子どもたちが暑さで疲れているようなので、昼食後すぐに終了してはどうかという意見があった。コロナ禍での数年間、午前中のみの実施を余儀なくされていた。市内の他園の多くが午前中のみの実施と聞いているが、本園としてはなるべくコロナ前の状態に戻していきたい思いも強い。そこで、開始と終了時間を早めるとともに、実施時期を10月の中旬に遅らせて試行してみることにした。
- ・赤木: 保護者の方たちとの話の中では、昼食有りの運動会実施については概ね好意的に捉えられている。お弁当がない方がいい方も一定数いると思うが、園の方針として進められていいと思う。
- ・園長: 以前実施していた保護者の奉仕作業や「触れ合い遊び」が数年無いので計画して欲しいという意見があった。とてもありがたい提案をいただいた。奉仕作業はできるだけ計画したいが、未入园児の「触れ合い遊び」は人員不足もあり、人材配置のシフト割りが厳しく、実施にはハードルが高い状況である。
- ・深田: 市内の多くの保育施設で人材不足が続き、保育に困難を来している状況が見られる。行政としても様々に施策を展開しているが、それが有効にはたらいて結果が出ているとは言いがたい。引き続き採用支援を行っていききたい。
- ・園長: 行事の際のトイレの使用方法として、男性用と女性用を分けて使用することはできないかとの提案があった。シオンヴィレッジのトイレの使用も含めて検討していききたい。

○自己評価を踏まえた考察

- ・コドモンの利用等、ICT機器の活用による業務効率化の検証や研修を推進していく。

○今後の課題

- ・人材確保について: 様々に採用について努力しているが、厳しい状況が続いている。IターンやUターン、未就労の資格取得者に対する行政の補助事業も活用しながら、継続的に努力していききたい。

○まとめ 本園は、平成26年度から認定こども園として運営を始めた。地域の中で安心して教育・保育を委ねられる存在を目指して、日々研鑽を積む努力をしているところである。10年間の歩みの中で、様々な困難も経験しつつも安定した運営が許されてきたことは、まことに感謝に堪えない。少子化の波も強くなっていく昨今ではあるが、質の高い保育を担う人材確保こそ運営の要と肝に銘じていききたい。今回も関係者評価委員の方の率直な意見や提案に心から感謝を献げたい。